

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	脳動脈瘤によるくも膜下出血患者における急性期病院退院時転帰に関連する因子の検討:早期予測モデル構築に向けた単施設前方視・後方視的観察研究 (B26-047)
当院の研究責任者 (所属・職位)	リハビリテーション部・主任 宮崎 道輝
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の概要・背景・目的	近年、急性期病院では入院期間の短縮が進んでおり、脳卒中患者に対しては救命治療後の早い段階から、退院先の検討やリハビリテーション（以下、リハビリ）の方針決定が求められています。 動脈瘤性くも膜下出血は、脳梗塞や脳出血とは異なる特有の経過をたどることが知られています。しかし、急性期病院に入院中に得られるリハビリに関する情報をもとに、退院先（自宅・回復期リハビリ病院など）との関係を調べた研究はまだ多くありません。 本研究では、動脈瘤性くも膜下出血の患者さんを対象に、入院時の状態・急性期の経過・リハビリの評価・認知機能・生活背景などの情報をもとに、退院先と関連する要因を明らかにすることを目的としています。
調査データ 該当期間	2023年12月7日から2030年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2023年12月7日から2029年12月31日の間に動脈瘤性くも膜下出血で当院救命救急・災害医療センター集中治療室に入院された20歳以上の方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2023年12月7日から2030年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 利用する情報には、年齢、性別、既往歴、病気の重症度、画像検査所見、治療内容、合併症、血液検査結果、入院期間、集中治療室在室期間、リハビリテーション評価（日常生活動作、身体機能、認知機能、精神機能、生活の質に関する評価）、退院先などを含みます。 本研究では新たな採血や検査などは実施しません。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、リハビリテーション部における一般研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：リハビリテーション部・主任 担 当 者：宮崎 道輝（ミヤザキ ミチテル） 電 話：０４２－７７８－８４１３
備 考	